

## 附属機関等の名称 会議概要

|   |
|---|
| 1 審議会名 第6回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会                        |
| 2 日 時 平成25年10月4日 午前9時30分から午前12時00分まで  |
| 3 会 場 長野県安曇野庁舎4階 402会議室   |
| 4 出席者 栗田委員、市川委員、大石委員、内川委員、高井委員、太田委員、青柳委員、小河委員、飯沼委員、上野委員、布施委員                |
| 5 市側出席者 宮澤まちづくり推進課長、南まちづくり推進担当係長、赤羽まちづくり推進担当主査、齋藤まちづくり推進担当主事、細川市民活動コーディネーター |
| 6 公開・非公開の別 公開   |
| 7 傍聴人 0人 記者 0人  |
| 8 会議概要作成年月日 平成25年10月18日   |

| 協 議 事 項 等  |
|--|
| 1 会議の概要<br>〔1〕 開会<br>〔2〕 会長あいさつ<br>〔3〕 報告<br>(1) ワーキンググループの報告<br>(2) 地域を考える研究集会の報告<br>〔4〕 審議<br>(1) 協働のまちづくり推進基本方針(案)について<br>(2) 協働のまちづくり推進行動計画(案)について<br>(3) キャッチフレーズについて<br>(4) 今後のスケジュールについて<br>第7回委員会<br>(5) その他<br>前文作成について<br>〔5〕 閉会 |

会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に所定の手続により公開してください。

会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

## 1 会議事項概要

〔1〕 開会

〔2〕 会長あいさつ

〔3〕 報告

(1) ワーキンググループの報告

【南補佐】第6回ワーキンググループでの事業企画案に対する修正案に対して、次回のワーキンググループで検討していただく旨を説明。

(2) 地域を考える研究集会の報告

【市川委員】地域を考える研究集会の報告

区長会も設立は市が合併してから9年目になろうとしている。地域の抱える課題解決の一助を目的に今回の研究集会を開催した。研究集会では各区の事例報告をしていただいたが、その他にも良い事例が多くあるので区長会だより等を通じ報告したい。区長会ではこれからも課題解決の道筋を見つけれられるよう検討していきたい。

〔4〕 審議

(1)協働のまちづくり推進基本方針(案)について

第1章について(6p～13p)

【意見】8pの「区など自治会とそれに属する組織」という部分に関して地区社協、地区公民館等と細かく書き出すと、老人クラブや地区ボランティアなど他の組織も入れなければならぬ。その他としたらどうか。

【意見】まだ余白があるので、全ての組織を加えたらいかかがか。

【意見】「区に属する他の団体」としたらどうか。

【意見】本計画は全市民が対象になるのであらゆる団体を記載すれば興味を持っていただけると思う。

【宮澤課長】事務局で調整させていただく。

【意見】6pの協働のまちづくり推進が必要な背景に関して、時代背景ごとに説明文章が並ぶよう体裁を整えていただきたい。また、この項目を拡大していただきたい。

【意見】背景は拡大しなくてもよいのではないか。

【宮澤課長】体裁に関しては調整させていただく。

【意見】6pの「単一でできないことは協力して行う」を「単一でできないことは～」として脱字を訂正する。

(2)協働のまちづくり推進行動計画(案)について

【宮澤課長】協働のまちづくり推進行動計画(案)について説明

【意見】24pの 施策1.情報収集システムの構築に関して「市民記者(仮称)による取材活動での情報収集」とする。

【意見】情報収集の共有化に関しては区など自治会は、区長会だよりを通じ提供される。ボランティア団体の情報は社協等を通じ、市民活動センターから、企業に関しては、商工会を通じて提供されるが、各セクション、情報集約・提供の仕組みがバラバラであるので、情報集約の一元化として市民活動センターに集約されるべきである。また、市民が一番見ているのは広報紙だと思うが、協働の項目を別冊にするべき。メールやSNSはデジタルデバインド(情報格差)について考慮しなくてはならない。

【宮澤課長】情報集約の一元に関しては検討していただきたい。市民の方々にとって様々な角度から情報が得られる仕組みを考えていきたい。

【意見】32pのJAIに関して、固有名詞を掲載してよいか。

【宮澤課長】固有の団体であるから、農業団体等とさせていただく。

【意見】31、32pに社会福祉協議会を加えていただきたい。

【宮澤課長】22 pの現状と課題に関しても社協からの意見をいただきたい。また、29 pの主体的な市民活動の促進に関しても社協に内容を入れさせていただきたい。検討いただき、文章をいただければ、と思う。

【意見】29 pの地域の課題を地域で解決する、という項目に関して、団体相互の横断的連携として公民館との連携は協働のまちづくり推進の柱となる。公民館活動での人と人とのつながりを作るのは大切である。

【宮澤課長】学びから地域課題を解決することは公民館が拠点になるものと考えている。

【意見】29 pの市民(区など自治会)を区の自治会活動とすると、区へ加入している人の活動を意味する。区の未加入者も合わせて活動するわけではないので、市民活動と区別していただくように表現を変えていただきたい。あるいは区分けをしていただきたい。

【宮澤課長】市民(区など自治会)は区に加入している市民が対象と考えている。表現に関しては検討させていただく。

【意見】区に加入していなくても自治会活動に参加できるような文面であるから、市民活動との区分けをしていただきたい。

【宮澤課長】基本方針の理念の部分で区分けをさせていただきたい。

【意見】区の活動を行う上で、一体感の醸成のためにも、公民館に関して一区一地区公民館であるべき。

【意見】8 pの市民(個人)と29 pの市民(個人)は安曇野市の市民全体なのか、区に加入している市民なのか。

【宮澤課長】安曇野市の全市民と考えている。

(4)キャッチフレーズについて

【意見】キャッチフレーズに関しては多くのアイデアが出ると思うが「協働」という言葉を入れるか入れないかで二つに分かれる。また「連携」「横断化」「情報」「共有」がキーワードであると思う。

【意見】安曇野市の協働の特徴との関連性を持たせる。

【宮澤課長】前文、キャッチフレーズについて検討するために、意見を出していただいた方を中心に小委員会を開催し、少人数での検討会を開催したい。

(4)今後のスケジュールについて

第7回委員会

【宮澤課長】次回の委員会開催は11月1日(金)を予定している。

(5)その他

前文作成について

{5} 閉会